

令和3年度一般会計決算に対する

討論

9月28日の本会議で、各会派が次のとおり討論を行いました。採決の結果、賛成多数で認定しました。

反 対 II 日本共産党

医師会等と連携したワクチン接種促進、自宅療養者支援を評価。感染者対応は専任の体制を専門職を確保した福祉健康部の体制強化、恒常的な市民生活支援策の実施を。学校給食無償化に踏み出すこと。公立保育園8園の民間化はしないこと。保育課、子ども政策課、公立保育園が核となり保育水準向上の支援体制構築を。市内への児童相談所誘致を都に要望を。留意事項が未解決のまま総合福祉センター移転を進めないこと。ゼロカーボンシティ達成に向け積極的な取組を。外環事業に関わる情報公開請求等で市は個人情報漏えいで事実関係すらも明らかにせず、幕引きは許されない。この点から決算の認定に反対。

賛 成 II 自由民主党

9回の補正予算により新型コロナウイルス感染症対応がバランズよく効果的に実施されたと評価。我が会派が唱えてきた市税と国民健康保険税の収納事務一元化を評価。防災対策はフェーズフリーの考え方を諸施策へ適用し防災対策や太陽フレア対策等への取組を要望。子ども・若者支援は、待機児童対策重視から総合的な子育て環境の充実を要望。教育施策はICT教育の推進や丁寧な現場支援を要望。総合福祉センターは障害者団体等からの意見聴取を評価。調布駅前広場は7年度の完成に向けて着実な整備を要望。東部地域の立体交差化推進を要望。今後もコロナ禍の長期化に対して適切な市民等への支援を要望。

反 対 II 生活者ネットワーク

市民の個人情報漏えいは真相究明に取り組み信頼回復の努力継続を求める。コロナの影響は市税収入減額の理由でなく、国の税収の伸びも経済の持ち直しを示す。コロナの真の影響は格

差 拡大。コロナ対応の救済措置

的取組は国の事業ばかりで市の自主事業は消費喚起事業。商品券事業は1冊1万円ではコロナの影響を大きく受けた市民は購入が困難。コロナの影響を受けた市民生活支援の目的に対し適切でない。効果検証なく議会にアンケート結果報告もない。総合計画の理念「みんなが笑顔でつながる・めくもりと輝きのまち調布」や誰一人取り残さないSDGs理念を強く意識した事業展開や交付金活用を努めるべき。

賛 成 II チャレンジ調布21

長期化する新型コロナウイルス感染症への対応として、国や都と連動した取組と併せ、市独自の支援策も講じられた。調布つ子応援プロジェクトとして子育て世帯へのプレミアム付商品券及び子育て応援券の配布事業など様々な支援策が実施されたことを評価。引き続き地域の実情を的確に捉え継続的な取組を財源確保方策としてクラウドファンディングやナショナルトラストなどの取組に期待。防災対策として、備蓄品のアルファ米個食化や消防団拠点の計画的修繕・整備品充実等は評価。調布駅前広場は7年度、線路跡地整備は6年度末完成に向け、適切な情報提供を行いながら着実な事業の前進を求める。

賛 成 II 公明党

長引くコロナ禍で9回に及ぶ補正予算を組み、懸命な努力を評価。実質収支は3年度を上回る約67億円を確保。プレミアム付商品券事業は産業振興と生活者支援をマッチングさせ効果を生んだ。6万人超の申込者数に対し3万2千人以上が抽選に外れ、市は第2弾実施を判断。本事業は十分評価に値する。低所得世帯への支援も調布つ子応援プロジェクトのほか、国や都と連携した支援で市の低所得世帯

への配慮の姿勢を確認。学校体育館の空調整備完了を高く評価

高年齢者施設はコロナワクチン接種時のタクシー券発行を評価。水害発生前の車両避難受入れ施設拡大を評価。パラハートちよっふの取組の大きな開花を願う。

賛 成 II 次世代・調布

コロナ禍の影響で予測が難しく、当初予算を大きく上回った市民税を繰越金として各基金に積立てたことで、今後の財政フレームを考慮した目標の水準に一定程度達したと考える。ふるさと納税による市税流出の拡大で、10年ぶりに市民税は減収。将来の市の税収に危機感を抱く消費喚起策として、プレミアム付商品券事業などは一定の効果があったと考える。コロナ禍の影響で、いまだに多くの事業者の売上げは低下。引き続き施策の拡充を要望。防災対策として

賛 成 II 自由民主党創政会

感染症対応としての市独自の市民生活や地域経済支援の取組を評価。実質収支は過去最大規模、歳入確保の取組も要因と評価。今後も税収確保のため、魅力あるまちづくりへの取組を。東京20大会では、共生社会の重要性を市内外に発信し評価。東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザを、スポーツ振興や地元経済の活性化に有効活用を。調布駅前広場は、7年度完成に向け着実な推進を。西調布駅周辺の都市計画道路は、30年近くに及ぶ地元まちづくり活動を踏まえ早期事業実施を。ふるさと納税は、地域資源を生かした取組を。中央自動車道工事の影響を受ける西調布体育館は、近隣代替施設の設置検討を。

賛 成 II 立憲フォーラム

ワクチン接種推進・自宅療養支援センター設置と自宅療養者に対する相談対応・食料品等物資支援の取組など、社会情勢や財政需要を見通した財政運営を評価。防災対策は、逆流防止ゲートの設置や排水樋管の遠隔操作化、狛江市と連携した浸水被害対策、感染症踏まえた避難所運営確立に向けた取組、高齢者など自力避難が困難な方への避難支援体制整備が進められたことを評価。学校の働き方改革は教員の負担軽減を図り、教員がより一層児童・生徒への指導に注力できる体制整備を要望。深大寺・佐須地域の農業公園整備を評価。コロナの影響が長期化、職員は健康管理に留意し市民生活に安心感をもたらす対応を。

賛 成 II 日本維新の会

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組として、市HPやSNSでの情報発信、ワクチン接種体制構築、地域医療機関との連携、夜間PCR検査対応に敬意を表す。プレイセンターちよっふや子ども居場所としての役割を果たすため投資を要望。プレミアム付商品券事業やキャッシュレス決済事業は地域経済再生・活性化のための財政出動。地域経済を活性化し税の再配分を。個人情報漏えいや市の情報資産紛失等、情報管理の意識が低い。職員の意識向上と情報管理体制の整備を要望。教育現場でのデジタルデバイドの問題に対応を。就学援助費用の拡充等、公教育への費用負担軽減を要望。



おしえて！

議会用語



定例会が開催されるといえる。委員会には、調布市議会委員条例に基づき設置している常任委員会(総務・文教・厚生・建設)と議会運営委員会、必要に応じて設置する特別委員会があります。現在は、広域交通問題等対策特別委員会・調布飛行場等対策特別委員会・中心市街地基盤整備等特別委員会の3つの特別委員会があります。

本会議

全議員で構成する会議のことです。提出された議案の審議や市議会としての最終意思の決定議決などを行います。

議案上程

予算や条例など審議の対象となる案件を議題とすること。議案には、市長や議員、委員会から提出されるものがあります。

質疑

提出議案など、特定の案件の疑問点を問いたです。意見を述べることはできません。

付託

議案などを審議するに当たり、詳しく調査・検討するために各委員会へ審査を委託すること。

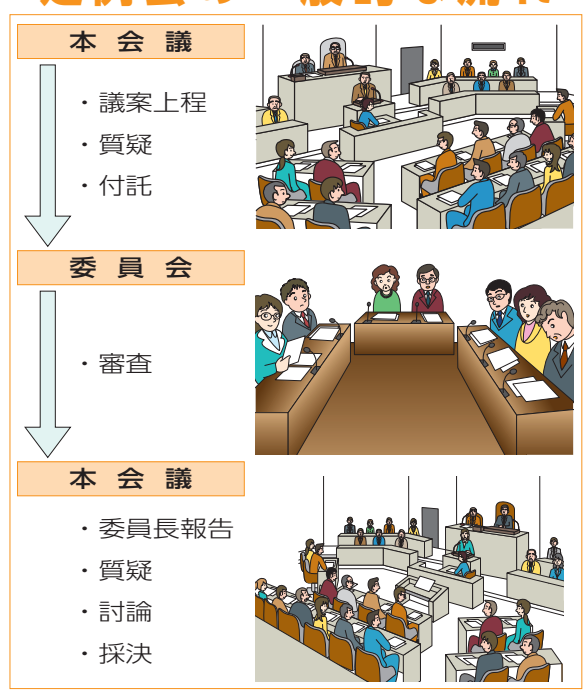
委員会(審査)

議会の内部審査機関として設置した会議のことで、提出された議案などを少人数の議員で、専門的・能率的に審査し、委員

採決

本会議で議題となっている案件について、議長が議員に賛成・反対の意思を問ひ、その意思表示を集計すること。

定例会の一般的な流れ



●「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。